

## 安定的な下水道サービスを行うために

牛久市下水道事業審議会から市長へ答申

牛久市下水道事業審議会は令和4年2月に市長より「適正な下水道使用料について」諮問を受け、下水道事業の健全な事業運営および安定的な下水道サービスの提供を行うための適正な下水道使用料について審議を行ってきました。約1年間、8回にわたり審議を重ね、3月29日に牛久市下水道事業審議会を代表し、坂野喜隆会長から市長へ答申書が提出されました。



## 空家等対策を推進するために

市と牛久市シルバー人材センターが協定締結

市と公益社団法人牛久市シルバー人材センターは、市内の空家等が管理不全な状態になることを防止するため、空家等の適正な管理の推進に関する協定を締結しました。本協定は、空家等の自己管理が困難な所有者等に代わって、シルバー人材センターが有償で空家等の見回りなどを行うものです。市はその取り組みを、空家等所有者等への案内や広報を実施することにより空家等の適正な管理を促します。



## 30年以上続く友情、5年ぶりにオレンジ市の高校生が牛久を訪問

オーストラリア・オレンジ市から、ジェームズ・シーハン・カトリック高校が牛久へ

牛久市の姉妹都市であるオーストラリア・オレンジ市から、ジェームズ・シーハン・カトリック高校の生徒16人と引率教諭3人が、4月12日、牛久市を訪問しました。当日は県立牛久高校と東洋大学附属牛久高校を訪問。コロナ禍で中断していた交流事業が再開したことを喜び合いました。

同日、表敬訪問のため市役所を訪れた高校生たちに対し、根本市長は「ようやく皆さんと直接お会いすることができました。日本でたくさんの思い出を作ってお返しにオレンジ市に持ち帰ってください」と英語であいさつしました。

シーハン高校のヘレン・クラーク教諭は「市長と牛久市の皆さんのおもてなしと優しさのおかげで、緊密な交流を再開できることに感謝いたします。これからも定期的にお会いできることを楽しみにしております」と日本語と英語であいさつ。続けて16人の生徒たちも授業の成果として日本語で自己紹介を行いました。



市長の手には、お土産にいただいたオレンジ市特産のリンゴと洋ナシの木製オブジェ



日本語で自己紹介をする生徒たち

## 高齢者の活動を体験 牛久高等学校の生徒がシルバーリハビリ体操を体験

牛久市シルバーリハビリ体操指導士会は、茨城県立牛久高等学校からの依頼を受け、1年生238人に対し「家庭基礎」の授業においてシルバーリハビリ体操（県推奨介護予防体操）の指導を行いました。

高校生にとっては高齢者の身体的な特徴や高齢社会における高齢者の地域活動について学ぶ貴重な機会となりました。

出席した高校生からは「肩こりに効く体操や、〇脚予防の体操を教えてもらえてよかった」、「自分たちが高齢者を支えていくと思っていたが、すでに高齢者が高齢者を支えていることを初めて知った」という感想があり、指導士からは、「高校生が若いうちから健康に興味を持ち、年齢を重ねてもずっと元気でいてほしいという気持ちを伝えられてよかった」との感想がありました。



## 誰もが活躍できる社会へ 牛久市男女共同参画審議会から市長へ答申

令和4年7月27日に市長から牛久市男女共同参画審議会へ諮問した牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画（第4次）の策定に対しての答申が、3月24日に同審議会金谷正彦会長から市長に手渡されました。

本計画については、令和5年度から令和9年度までの5年間に取り組む目標や具体的事業について4度の審議会にて、審議してきました。市では、牛久市男女共同参画推進基本計画・実施計画（第4次）に定められた目標の達成に向け、行政、市民、事業者が一体となって男女共同参画を一層推進していきます。



## 寄贈 温かい善意ありがとうございます

### 常陽銀行牛久支店から防犯ブザー

常陽銀行牛久支店から防犯ブザー650個を寄贈していただきました。



### JA水郷つくばから黄色い帽子

JA水郷つくばから交通安全のための黄色い帽子611個を寄贈していただきました。

